

名立区名立大町地域 避難行動計画【新町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難する先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
 - ・津波発生時に車いすで避難する要支援者の避難行動を支援します。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路や避難先の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

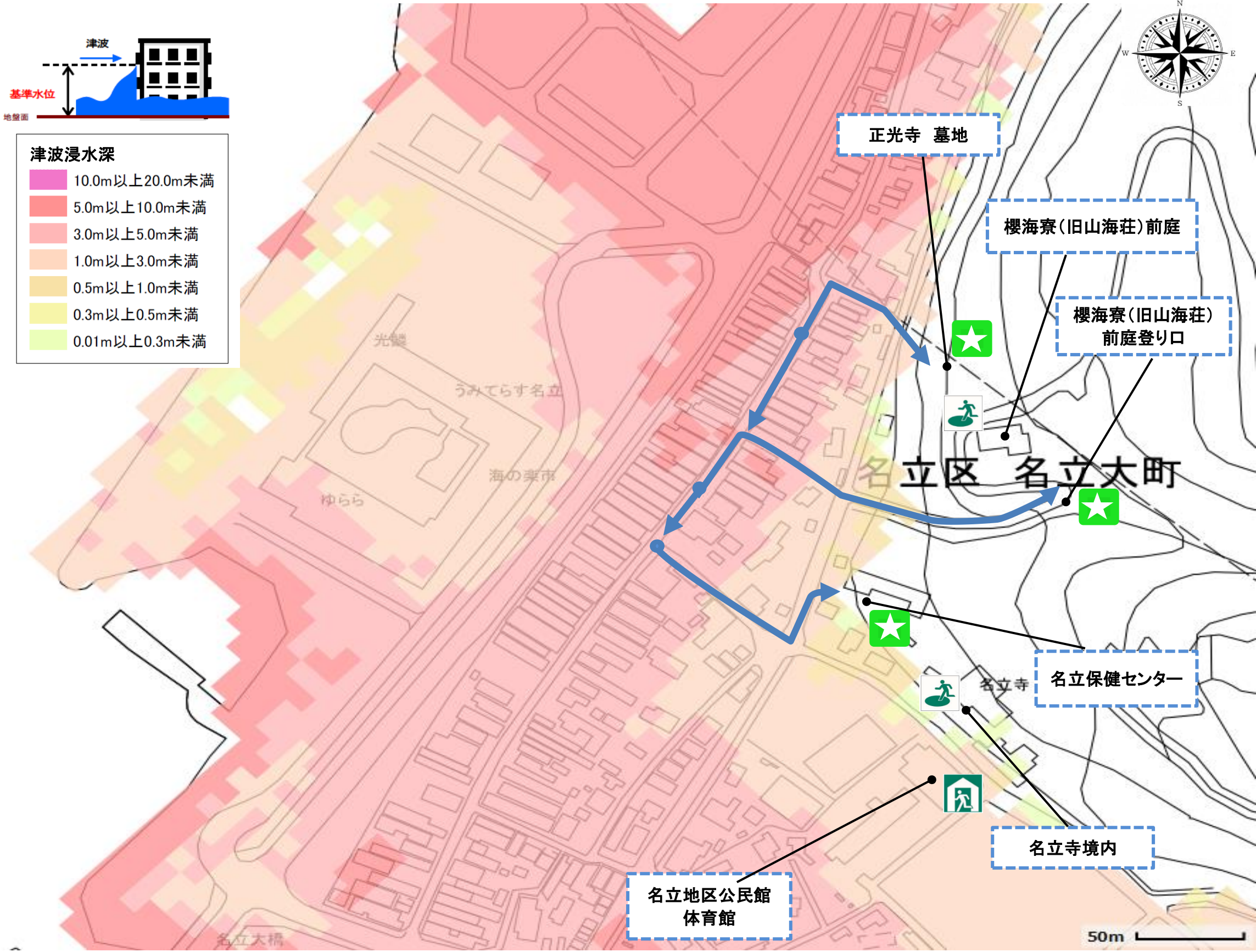
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、速やかに避難目標地点に向かい、状況に応じて、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。 4 要支援者はご近所の御協力を得て、車にて県道をルートに、高台へ避難する。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・櫻海寮（旧山海荘）前庭登り口 ・正光寺 墓地 ・名立保健センター（敷地内）
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・名立地区公民館 体育館
(5) 避難行動要支援者の支援方法	○指定緊急避難場所 ・櫻海寮（旧山海荘）前庭 ・名立寺境内
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	5 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
2 要支援者名簿を自主防災組織で共有しておきます。	6 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

名立区名立大町地域

避難行動計画【新町町内会】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 櫻海寮(旧山海荘)前庭登り口
 - ・ 正光寺 墓地
 - ・ 名立保健センター(敷地内)
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・ 名立地区公民館 体育館
- 指定緊急避難場所
 - ・ 櫻海寮(旧山海荘)前庭
 - ・ 名立寺境内
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、速やかに避難行動を開始する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 状況に応じて、名立地区公民館体育館(指定避難所)に避難する。(津波警報等の解除後)
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

名立区名立大町地域 避難行動計画【仲町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

⇒ 津波災害の特性などの把握

- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。

⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備

- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
- ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。

⇒ 地域の避難経路、避難する先の確認

- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。

⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認

- ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
- ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

⇒ 避難行動要支援者の避難支援

- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ・津波発生時に車いすやリヤカーで避難する要支援者の避難行動を支援します。

⇒ 避難経路の除雪

- ・冬期の津波発生に備え、組ごとに除雪等、避難先の整備に努めます。

⇒ 防災訓練の実施

- ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。

⇒ タウンウォッチング（避難経路や避難先の点検等）の実施

- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動

- 1 揺れがおさまるまで身の安全を図る
原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。
- 2 家族や財産を守る
火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。
- 3 余震に注意し、避難の準備をする
室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。

(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装

- 1 動きやすく、安全な装備・服装
軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等
- 2 非常用持出袋の中身
非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等
- 3 貴重品や日用品
財布、携帯電話 等

(5) 避難行動要支援者の支援方法

- 1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。
- 2 要支援者名簿を自主防災組織で共有しておきます。
- 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。

(2) 津波に関する情報の入手方法

- 1 防災行政無線・戸別受信機
Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
- 2 携帯電話・スマートフォン
市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。

(4) 避難の方法・避難先

- 1 原則として徒歩で避難します。
 - 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
 - 3 原則として、速やかに町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- ・名立地区公民館体育館
- 指定緊急避難場所
- ・櫻海寮（旧山海荘）前庭
 - ・名立寺境内
- 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
 - 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
 - 6 避難経路図の見直し、指定緊急避難場所の名立寺境内へ避難、状況を確認のうえ、速やかに体育館 2 階へ移動します。
 - 7 名立寺の裏山（寺山）は土砂災害ハザードマップによる土砂災害特別警戒区域、境内は土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）のため、大雨警報時の地震の際は注意してください。
 - 8 徒歩での避難者と急いでくる車との安全確保が心配ですので、避難行動要支援者等、車で避難する場合のルートは名立地区公民館駐車場又は名立寺境内下道路までとして下さい。
 - 9 指定緊急避難場所の名立寺境内以外に避難された会員は、町内会としての安否確認のために町内会長又は町内防災士へ安否確認の連絡を行ってください。

名立区名立大町地域 避難行動計画【川端町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難する先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

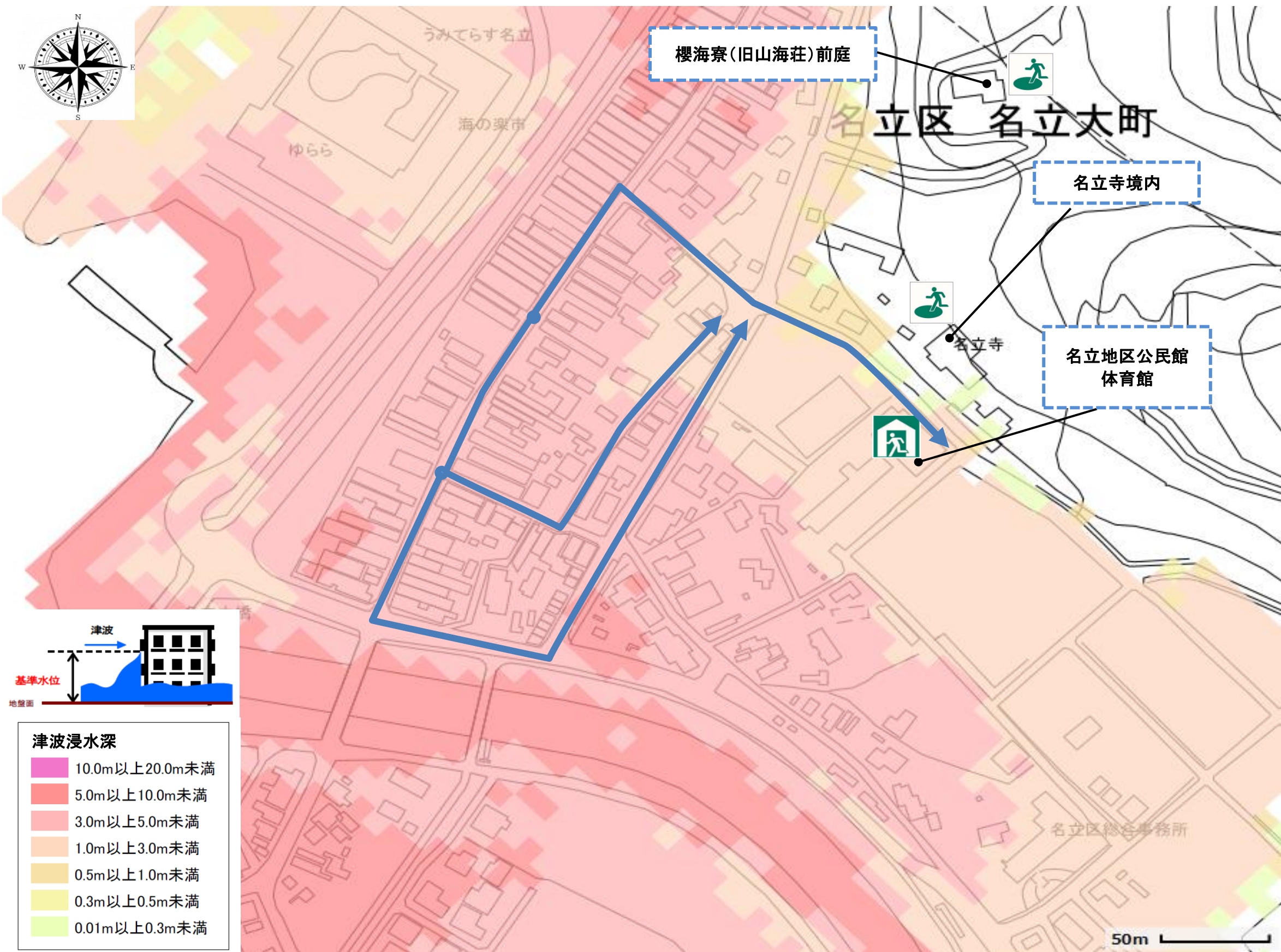
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
 - ・津波発生時に車いすやリヤカーで避難する要支援者の避難行動を支援します。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、必要に応じて、津波に備えた防災訓練を実施する。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路や避難先の点検等）の実施
 - ・町内会は、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。
- ⇒ 災害時の広報
 - ・住民に周知した危険音を発生させて避難します。
 - ・避難完了を示す旗を玄関前に掲げます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、速やかに町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・名立地区公民館体育館 ○指定緊急避難場所 ・櫻海寮（旧山海荘）前庭 ・名立寺境内
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を自主防災組織で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。

名立区名立大町地域 避難行動計画【仲町、川端町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所
(津波指定)



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



避難経路



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
仲町町内会・川端町内会
・ 名立地区公民館体育館
- 指定緊急避難場所
・ 櫻海寮(旧山海荘)前庭
・ 名立寺境内
- 避難行動の流れ
・ 指定避難所を目指し、速やかに避難行動を開始する。
・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
・ 津波が河川遡上する危険性を考慮し、極力川沿いを避けて、避難場所へ向かうこととする。
・ 名立地区公民館体育館への避難に当たっては、2階体育館に避難する。支援者は状況に応じて2階への移動を支援する。
・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

名立区名立大町地域 避難行動計画【横町町内会（横町山・川・上、旭団地）自主防災組織】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。
 - ・横町町内会自主防災組織からも連絡することとしています。

(2) 地域（横町町内会自主防災組織）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
 - ・災害発生時にリヤカーまたは自家用車で避難する要支援者と支援者を決めておきます。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・横町町内会自主防災組織は、名立大町自治会主催の防災訓練への参加ほか、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・横町町内会自主防災組織は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。
- ⇒ 「避難完了旗」の用意
- ・全世帯は、「避難完了旗」を玄関付近に置き、家族全員が避難するときに、旗を軒先に掲げることとします。

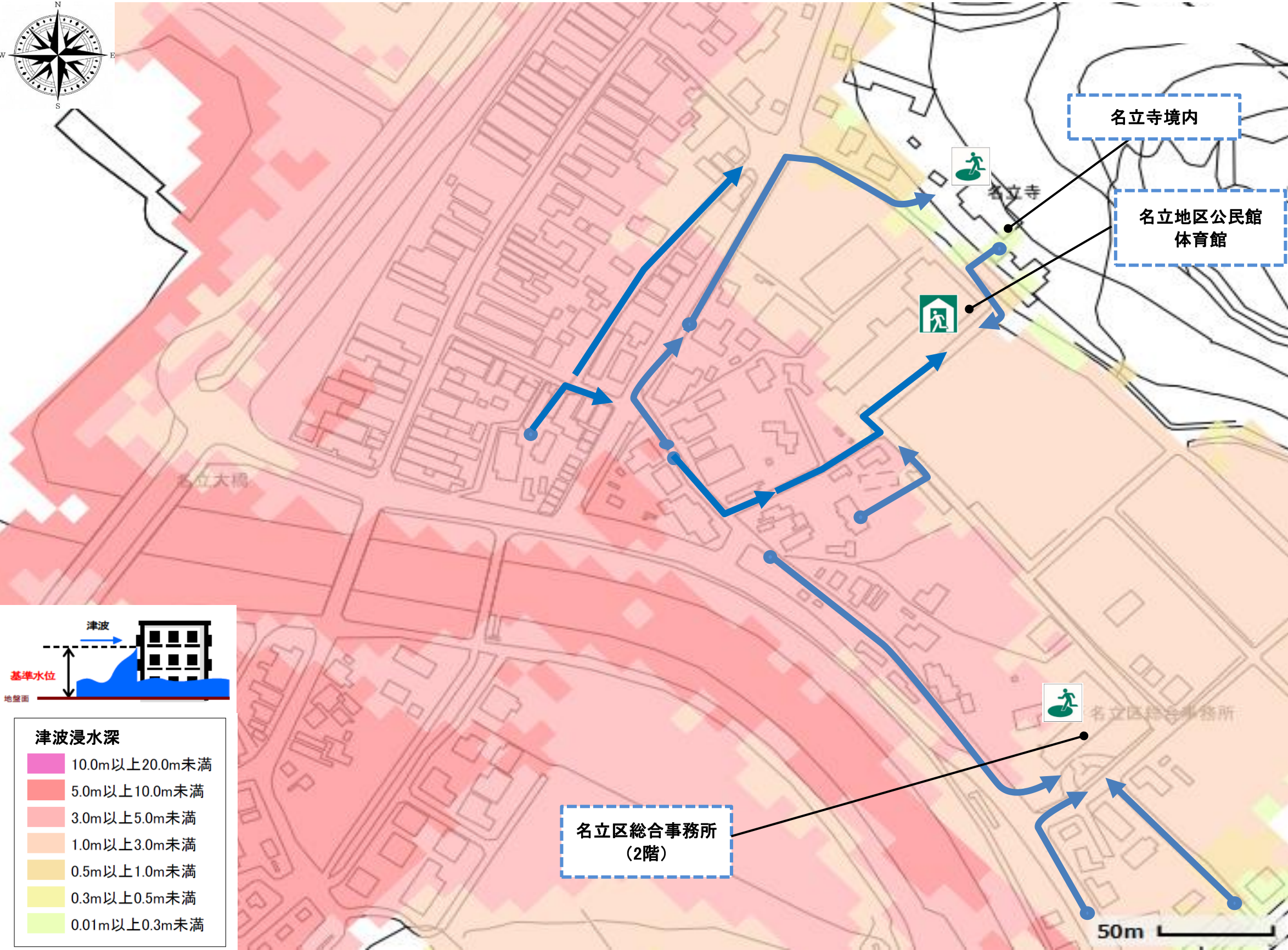
2 津波からの避難マニュアル（横町町内会自主防災組織のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。 3 横町町内会自主防災組織からのお知らせ 自主防災組織で、拡声器を使用して周知します。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難しますが、要支援者については、自家用車等による避難を行います。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、指定緊急避難場所に向かいます。 4 避難完了旗を家の軒先に掲げて避難します。 ○横町山 ・名立寺境内（指定緊急避難場所） ・名立地区公民館体育館（指定避難所） ○横町川 ・名立地区公民館体育館（指定避難所） ・名立区総合事務所（2 階：指定緊急避難場所） ・名立寺境内（指定緊急避難場所） ○横町上 ・名立区総合事務所（2 階：指定緊急避難場所） ・名立中学校（指定緊急避難場所兼指定避難所） ・名立地区公民館体育館（指定避難所） ○旭団地 ・名立区総合事務所（2 階：指定緊急避難場所） ・名立地区公民館体育館（指定避難所） ※各避難場所への避難に当たっては、高い場所に避難する。 （名立区総合事務所は、津波警報発表時に警備が自動開錠される） 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を自主防災組織で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。 4 歩行が困難な要支援者は、リヤカー（大・小各 1 台）または自家用車による避難支援を行います。	

名立区名立大町地域

避難行動計画【横町町内会（横町山・川・上、旭団地）】

避難経路図



地域の情報	
指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

横町山

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立寺境内
 - ・ 名立地区公民館体育館(指定避難所)

横町川

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立地区公民館体育館(指定避難所)
 - ・ 名立区総合事務所(2階)
 - ・ 名立寺境内

横町上

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立区総合事務所(2階)
 - ・ 名立中学校(指定避難所)
 - ・ 名立地区公民館体育館(指定避難所)

旭団地

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立区総合事務所(2階)
 - ・ 名立地区公民館体育館(指定避難所)

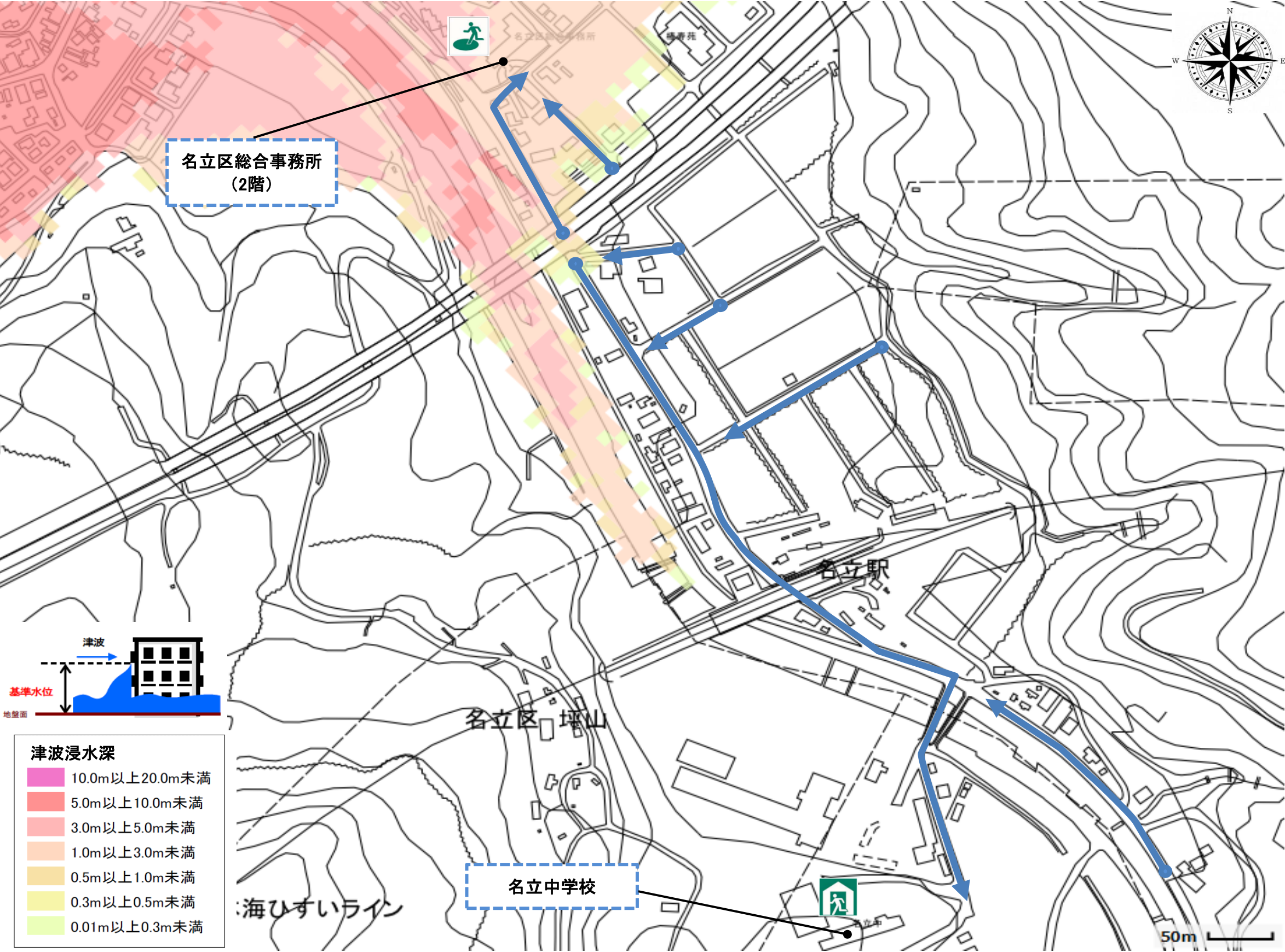
○ 避難行動の流れ

- ・ 指定緊急避難場所を目指し、速やかに避難行動を開始する。
- ・ 各避難場所への避難に当たっては、高い場所に避難する。(名立区総合事務所は、警報発表時に警備開錠)

名立区名立大町地域

避難行動計画【横町町内会（横町山・川・上、旭団地）】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

横町山

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立寺境内(一次避難)
 - ・ 名立地区公民館体育館(指定避難所)
- 避難目標地点
 - ・ 食事処八千代(2階)

横町川

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立地区公民館体育館
 - ・ 名立区総合事務所(2階)
- 避難目標地点
 - ・ 食事処八千代(2階)

横町上

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立区総合事務所(2階)
 - ・ 名立中学校

旭団地

- 指定緊急避難場所
 - ・ 名立区総合事務所(2階)

○ 避難行動の流れ

- ・ 指定緊急避難場所又は避難目標地点を目指し、速やかに避難行動を開始する。
- ・ 各避難場所への避難に当たっては、高い場所に避難する。(名立区総合事務所は、警報発表時に警備開錠)